

「かすかなささやき Around The Shikotsu」 について

大地に含んだ水を植物が糧とし芽吹く。水は地下をゆきやがて地上にあらわれ川となる。
冬のシバシバに凍りつきその動きを留め、春また流れはじめる。
支笏とその周囲に広がる美しい風景に理由はあるのだろうか。
なにげなく繰り返されることが大切で、時間をかけて少しの変化をつづけていることがうつくしい。
そして、その情景に自分の心が響いているのだとおもう。
ただなにげなくそこにあるいつもの森を意識するため、水の流れに眼をとめ「記憶色」で再現した作品群が「かすかなささやき Around The Shikotsu」です。
どうかご覧ください。

記憶色について

トーンの豊富なモノクロ写真を作成、そこに着色行程を繰り返し天然色化することで、自身の記憶のなかにある心象と写真現実が融合したカラーイメージの再現を試みます。
他シリーズに「廻り～Landscapes Hokkaido」「Memory of Color, OTARU ～小樽色～」など

千歳川桜 千歳市
Chitose River Cherry tree / Chitose-shi

しとしと雨の千歳川を見て歩く。
色のなかった川縁にようやく春がやってきたのは五月。
新緑とおなじ頃サクラも開花し、このあと一気に色を増してゆく。
樹々がいろいろに輝くすばらしい一時。

Cotton Paper / Inkjet
1456mm×728mm
2013 Shooting
2014 Image Work

支笏湖 千歳市
Lake Sikotsu / Chitose-shi

日中はまだまだ暑かった。
支笏湖の旧有料道路を走りポロピナイを目指すと、
太陽が沈んだすぐあとは暮れ行く空がうつくしい。
ゆれる湖の向こうにフツプシをみると晩夏の月が静かに光っていた。

Cotton Paper / Inkjet

1456mm×728mm
2014 Shooting
2015 Image Work

烏柵舞橋 千歳市
Usakumai Bridge / Chitose-shi

マイナス10度くらいだろうか。
そこそこ冷え込んでいる千歳の街を抜け支笏湖へ向かうと、
いつも通るウサクマイ橋あたりもビシッと凍てついている。
川霧と青い朝の光に輝く千歳の冬。

Cotton Paper / Inkjet
1456mm×728mm
2014 Shooting
2015 Image Work

樽前ガロー 苫小牧市
Tarumae Garo Valley / Tomakomai-shi
南北には切り立った谷がある樽前の森。
盛夏、樽前ガローを目指すところだけひんやりして気持ちよい。
深く切り立ったそこは大地とは隔離され壁がすべて苔むした別世界。
緑に覆われた崖の底を水が静かに流れ落ちていた。

Cotton Paper / Inkjet
1030mm×728mm
2013 Shooting
2013 Image Work

エゾエンゴサク 千歳市
Ezoengosaku (Spring Ephemeral) / Chitose-shi

春、しとしと降る雨のなかモラップの麓に入ってみると、
濃い茶色の地面には若々しい緑が伸びあがってきている。
その葉影にかくれるように青い春の花が咲き始めていた。
スプリングエフェメラルはあっというまに過ぎ去るからうつくしい。

Cotton Paper / Inkjet
594mm×841mm
2012 Shooting
2015 Image Work

七条氷柱 苦小牧市

Nanajo Icicle / Tomakomai-shi

このところ冷え込みは厳しくなってきたから、きっとそろそろだろう。
いく筋にもなる滝の滴りはつららに姿を変え見応え十分に育っている。
滝に目を奪われてしまったが、その周囲にひっそり氷柱が。
滲み出した地下水は天地がつながりなんとも神秘的だ。

Cotton Paper / Inkjet

728mm×1030mm

2014 Shooting

2015 Image Work

七条大滝 苦小牧市（勇払川支流丸山川）

Nanajo Falls / Tomakomai-shi

あたりが雪に覆われると音が吸収され静さが際立つ。
針葉と落葉の森を歩くと、ふぁさふぁさと羽音をさせながら数羽飛ぶ野鳥に気づく。
一定の距離をたもち彼らも同じ方向に進んでいるのはこちらに興味があるのだろう。
滝まで同行してくれる彼らが一緒だと、一人歩きも悪くない。

Cotton Paper / Inkjet

1456mm×728mm

2014 Shooting

2015 Image Work

ママチ川 千歳市

Mamachi River / Chitose-shi

森の色がキイロに変わった。ママチ川沿いの林道は落ち葉にびっしり覆われている。
時々吹く風に樹々が揺れ、葉はどんどん枝から離れてゆく。
川越しに森を見る。
地面にとどまるもの、流れ行くもの、落葉は大地の糧になってゆく。

Cotton Paper / Inkjet

1189mm×594mm

2013 Shooting

2015年 Image Work